

KITASEUENO SHINKIN BANK

MINI DISCLOSURE 2018

.....
2018年3月期 ミニディスクロージャー



KITASEUENO SHINKIN BANK

MINI DISCLOSURE 2018

ごあいさつ



理事長 市川克美

皆さまには平素より北伊勢上野信用金庫をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

このたび、当金庫に対するご理解を一層深めていただくため、「2018年3月期ミニディスクロージャー誌」を作成いたしました。当金庫の業績や活動状況をできるだけわかりやすくご案内しておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

第五次中期経営計画の最終年度を迎える今年度は、「時代に合った信用金庫の原点回帰」をより一層深化させることで、お客さまとの信頼関係をさらに強めるべく、役職員一同全力を尽くしてまいりますので、何卒倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月

経営理念

- 地域金融のプロフェッショナルとしてお客さまの夢の実現に貢献します。
- 自己啓発に励み、手づくりで良質な金融・情報サービスを提供します。
- 健全で活力ある前向きな経営を心がけ、地域社会の皆さまとともに繁栄します。



北伊勢上野信用金庫

設 立	昭和4年6月6日
本店所在地	四日市市安島二丁目2番3号
出 資 金	34億円
店 舗 数	31店舗(うち出張所3カ所)
役 職 員 数	378人
預 金 積 金	4,184億円(預金には譲渡性預金を含みます。)
貸 出 金	1,976億円

(平成30年3月31日現在)

第五次中期経営計画(平成28～30年度)

当金庫では平成28年度より「第五次中期経営計画」『未来につなぐ“Challenge Spirits”～お客様のベストパートナーとして』を開始しました。三重県の北中部地域に位置し、中部関西両経済圏にまたがる唯一の信用金庫として、磐石な経営体力を維持し、さらに頼られる金融機関としての存在感を高められるよう、役職員一同が一丸となって取り組んでいます。

行動指針

- 1 お客様の一番身近な金融機関を目指します
- 2 お客様から信頼される金融機関を目指します
- 3 果敢に挑戦する金融機関を目指します

経営目標

金融仲介機能の高度化と信用金庫業界の総合力と当金庫の持つ「つなぐ力」を発揮し、課題解決型金融の強化を行うことにより、地域密着型金融を深化させ、さらに頼られる金融機関としての存在感を高める

佐那具支店、柘植支店の店舗移転について

平成30年7月1日をもちまして、地域の皆様に支えられ地域と共に歩んでまいりました佐那具支店(昭和27年9月開設)、柘植支店(昭和39年12月開設)を店舗の耐震上の理由により、それぞれ城北支店、阿山町支店に移転いたしました。



長らくのご愛顧にお礼申し上げますとともに、今後とも地域の皆さまの変わらぬご支援をお願いいたします。

公式LINE@を開設しました

スマートフォン用コミュニケーションアプリ「LINE」に公式LINE@を開設しました。信用金庫のキャラクター「信ちゃん」がLINEを通じてキャンペーンのご案内や地域に関する情報等をお届けしています。お友だち登録をしていただいたお客さまには、信ちゃんやご当地ゆるキャラの缶バッジをプレゼントしております。ぜひお友だち登録をしてご利用ください。



クラウドファンディングで地域を盛り上げます！

平成29年6月、地方創生に向けた取組みとしてクラウドファンディング専門機関「READYFOR(株)」とビジネスマッチング契約を締結しました。平成29年度は、上野天神祭「だんじり行事」警備



運営資金、NPO法人あぐりの社(障がい者就労訓練所)農園内トイレ設置資金の募集を行い、目標金額に達し、プロジェクトが成立しました。

しんきんコラボ産学官Mieが設立10周年を迎えました

しんきんコラボ産学官Mie(旧名称:コラボ産学官三重支部)は「産学官+金融機関」の連携組織として全国のコラボ産学官や信用金庫のネットワークを活用し、企業と大学等の橋渡しや資金的支援を行っております。平成29年度は設立10周年を迎えたことから、(株)タニタの前社長の谷田大輔様をお招きし「タニタの健康経営」をテーマに記念講演会を行いました。



東春信用金庫と「ビジネス商談会」開催

県を跨いだビジネスマッチングとして、愛知県小牧市の東春信用金庫と当金庫で商談会を開催しました。特に製造業を中心に両金庫のお客さまの出会いの場をつくることで、ものづくり経済圏といわれる東海地区の企業と企業を結ぶ架け橋になることを期待しています。他県の信用金庫とのビジネス商談会開催は、県内の信用金庫として初めての取組みです。



ジュニアクラブの新イベント「絵本の読み聞かせ&人形劇」「初めての茶道教室」



中学三年生までのお子さまを対象とした会員組織である「ジュニアクラブ」では、平成29年度に2つの新しいイベントを企画いたしました。幼児向けのキッズイベントとして実施した「絵本読み聞かせ&人形劇」では、ほがらか絵本畑のしんちゃんによる読み聞かせとむすび座による本格的な人形劇を上演。小学校高学年向けに開催した「茶道教室」では裏千家の先生を講師としてお招きし、お茶の点て方、いただき方を教えていただきました。

地域の皆さまとともに

■ 平成29年度の主な取組み

4月

個人のお客さまを対象に相談業務を行う
マネーアドバイザー(MA)導入

(株)BIZサポートとの中小企業支援に関する包括連携協定を締結

経済クラブ総会・講演会

～講師:村田 晃嗣 氏(同志社大学教授)

「トランプ新大統領就任後の国際情勢と日本のゆくえ」



経済クラブ講演会 村田晃嗣氏

5月

平成29年度新入職員自衛隊研修

ミサワホーム(株)とのビジネスマッチング契約締結



ジュニアクラブ「絵本の読み聞かせ&人形劇」



ジュニアクラブ「デーキャンプ」



大四日市まつり諏訪太鼓チーム



三重大学留学生のインターンシップ

6月

READYFOR(株)(クラウドファンディング専門機関)との
ビジネスマッチング契約締結

～上野天神祭「だんじり行事」警備運営資金募集

～NPO法人あぐりの杜(障がい者就労訓練所)施設建築資金募集

「フラット35」子育て支援型および地域活性化型の取扱開始

あいおいニッセイ同和損害保険(株)との業務提携契約締結

～しんきんコラボ産学官Mieと共同で「助成金セミナー」開催

～ベルマーク収集運動開始 特別支援学校へ寄贈

サマーキャンペーン(～7月)

四日市市制施行120周年を営業窓口等でPR

第89期通常総代会

7月

加佐登支店・箕田支店を鈴鹿支店内、
西出張所を上野営業部内に移転

東海税理士会と連携した保証制度

「税理士連携短期継続保証」取扱開始

うえしん経済クラブ社会見学

「宇治川遊覧船乗船と明治なるほどファクトリー大阪見学」

WEB-FBサービス ヘルプデスク(専門コールセンター)開設

ジュニアクラブ「絵本の読み聞かせ&人形劇」

8月

ジュニアクラブ「初めての茶道教室」「デーキャンプ」

大四日市まつり協賛・諏訪太鼓チーム出演

三重大学人文学部留学生のインターンシップ受入れ

第1回北伊勢上野信用金庫杯

鈴鹿市ジュニアバレーボール交歓大会 開催

特殊詐欺未然防止に対し四日市南署より感謝状拝授(本店営業部)

9月

四日市市まちゼミに参加

～「誰でも簡単! 単純明快! 投資信託で資産形成」

きたしん経済クラブ社会見学「大井川鉄道」

10月

第12回ビジネスフェア2017

うえしん福寿会日帰り旅行「錦秋名古屋顔見世」

オリックス(株)、freee(株)とビジネスマッチング契約締結

しんきんコラボ産学官Mie「企業見学会」(東大阪市)

みえリーディング産業展2017



第12回ビジネスフェア2017

11月

うえしんすみれ会日帰り旅行

「おんな城主直虎大河ドラマ館、はままつフラワーパーク」

しんきんコラボ産学官Mie設立10周年記念講演会

～講師:谷田 大輔 氏 (株)タニタ前社長

「タニタの健康経営～健康なカラダと社会を目指して～」

きたしん福寿会日帰り旅行

「蒲郡オレンジパーク、ラグーナ・フェスティバルマーケット」



しんきんコラボ産学官Mie「企業見学会」

12月

日本管理センター(株)、(同)K'Sコンサルティングオフィスと

ビジネスマッチング契約締結

ウィンターキャンペーン



シニア人材交流会

1月

経済クラブ初詣「伊勢神宮」

はじめてのマナーセミナー(上野地区)

シニア人材交流会

2月

2018 給与振込キャンペーン

東春信用金庫のお客さまとの「ビジネス商談会」開催

名張市中古住宅流通促進協議会との「良質住宅ストック形成のための市場環境整備促進事業に関する協定書」締結

パナソニックホーム(株)とビジネスマッチング契約締結



しんきんコラボ産学官Mie「経営者セミナー」

3月

公式LINE@開設

うえしん経済クラブ「宝塚大劇場観劇会」

IT導入補助金セミナー

しんきんコラボ産学官Mie「経営者セミナー」

～講師:三重大学 人文学部法律経済学科 准教授 青木 雅生 氏

「魅力ある企業」を目指し事業の継続・承継へ」

企業再建・承継コンサルタント協同組合(CRC)

常務執行役員 東海支部長 岩本 亨 氏

「よりよい事業承継に向けて今できること」

投信インターネットサービス スマートフォンでの取扱開始

ジュニアクラブ映画会「怪盗グルーのミニオン大脱走」

新小学一年生へ「ご当地きゃらくたー自由帳」を寄贈

(株)エフアンドエムとビジネスマッチング締結

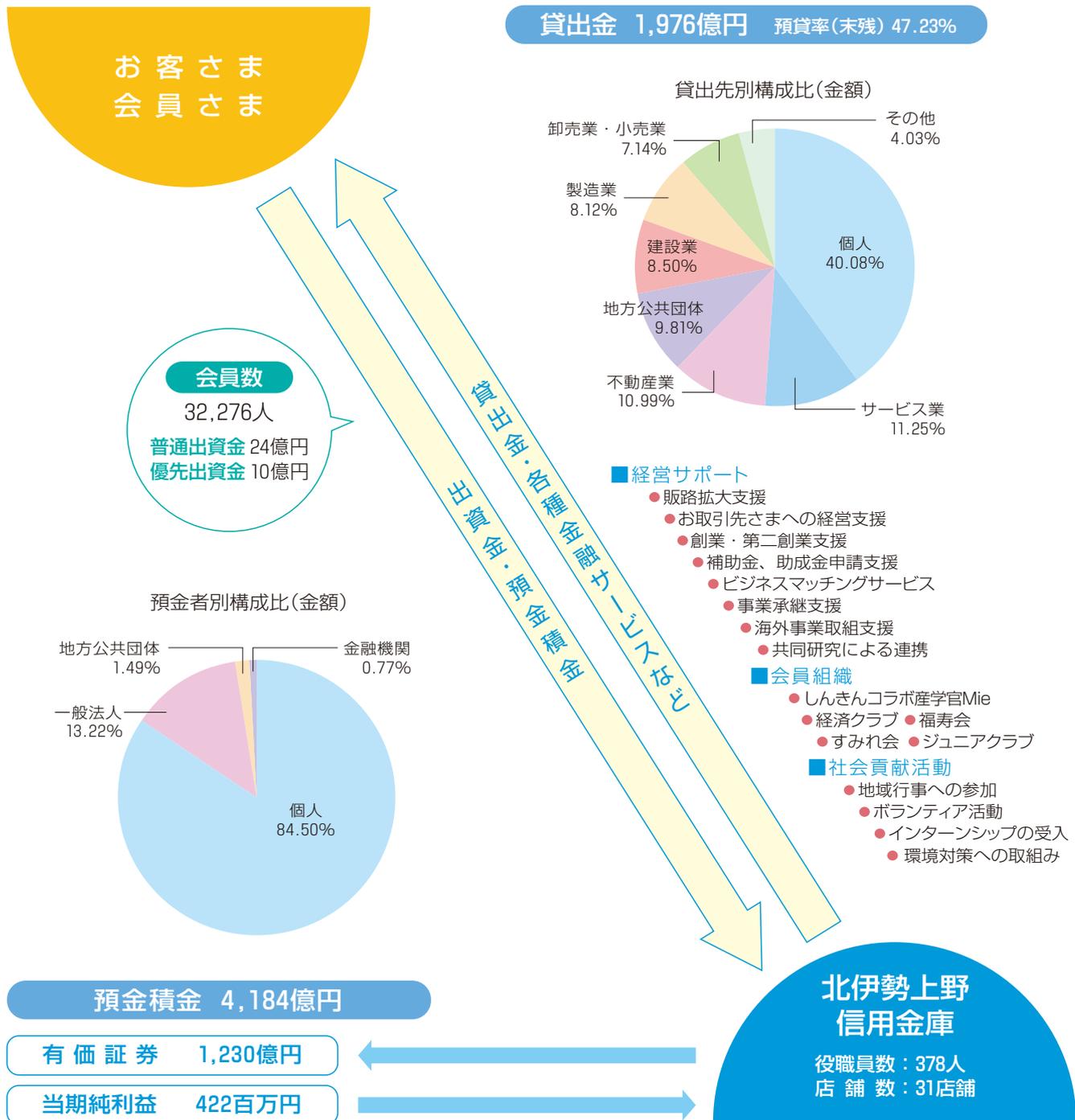
大阪府「ものづくりB2Bネットワーク」に参加



ジュニアクラブ「映画会」

北伊勢上野信用金庫と地域社会

信用金庫は地元の中小企業や住民の皆さまとともに発展していくことを経営理念として運営する相互扶助型の金融機関です。当金庫は、三重県の北勢、伊賀を中心とした地域を営業エリアとして、地元のお客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)を、地元のお客さまに広くご融資し、地域経済の安定や活性化に努めております。



※各種計数は平成30年3月末の実績です。
※預金積金には譲渡性預金を含みます。

お客さまに経営の状況をお伝えし、お客さまのご意見を経営に活かしています

「地区別総代懇談会」を定期的に行い、金庫の業況や地域経済を取り巻く環境などについてきめ細かな意見交換を行っております。平成29年度は3地区で開催し、49名の総代の皆さまにご参加いただきました。

文化的・社会的貢献活動

当金庫は、地域社会の発展や豊かな暮らしづくりのためさまざまな活動を通して、地域の文化・スポーツ振興、社会福祉の向上に努めています。

「伊賀FCくノ一」を応援しています

なでしこリーグ「伊賀FCくノ一」の全てのホームゲームに当金庫職員がスタッフとして参加しています。平成28年度から会場広告のほかトレーニングウエアへの広告掲載を行い、さらなる飛躍を応援しています。



「伊賀上野NINJAフェスタ」へ参加(4月~5月)



忍びの里・伊賀市の恒例イベント「伊賀上野NINJAフェスタ」期間中、上野営業部では赤や紺などのカラフルな忍者衣装で窓口業務や渉外活動を行っております。

また、手裏剣打ちや吹き矢体験ができる「まちかど忍者道場」に職員がボランティア参加しています。

四日市市制施行120周年を応援(6月)

四日市市は全国で45番目の市として明治30年に市制施行し、平成29年8月1日に120周年を迎えました。これを機に市民や働く人が、四日市市の魅力や良さを改めて認識するきっかけとなるよう、市内の支店では記念グッズのミニのぼりを窓口に置き、職員は缶バッジを付けてPRをしました。



インターンシップ(職場体験会)の受入れ

平成29年度は中学校2校、高等学校2校、特別支援学校2校、三重大学人文学部の留学生のインターンシップを受入れました。また、留学生のインターンシップ受入企業を紹介しました。

特殊詐欺未然防止に対し感謝状拝受(8月)

当金庫本店営業部は還付金返還名目特殊詐欺を未然に防止したとして、四日市南署より感謝状を拝受しました。



「大四日市まつり」へ参加(8月)

毎年、大四日市まつりに協賛するとともに、諏訪太鼓チームが出演しております。当金庫の諏訪太鼓チームは、伝統ある諏訪太鼓の演奏技術を継承していくために昭和51年に結成されたチームで、まつり当日には、商店街や養護施設など、四日市市内を巡回して、迫力ある太鼓の音を響かせています。



鈴鹿市ジュニアバレーボール「第1回北伊勢上野信用金庫杯」開催(8月)



当金庫が後援している鈴鹿市ジュニアバレーボール交歓大会が「第1回北伊勢上野信用金庫杯」として開催されました。鈴鹿市のチームのほか、伊賀市、亀山市と当金庫営業エリアの全27チームが集まり、3会場に分かれて熱戦が繰り広げられました。

「上野天神祭」への参加(10月)

伊賀路の秋の風物詩となっている上野天神祭では、賑やかな囃子にのせて、絢爛豪華な「だんじり」が城下町を練り歩き、400年前の賑わいを今に伝えています。当金庫は、祭りの見どころの一つである鬼行列とだんじり巡行に参加しております。



ベルマーク収集運動を行っています(1月)

あいおいニッセイ同和損害保険(株)と締結した地域創生にかかる業務提携契約の一環で、ベルマークを収集し特別支援学校へ寄贈しています。同社とはこの活動のほか、「助成金セミナー」を開催しました。

「はじめてのマナーセミナー」を上野地区で開講しました(1月)

四日市商工会議所主催「四日市まちゼミ」にて開講した「誰でも簡単!意外と単純!投資信託で資産形成」と題したセミナーが好評につき、相談プラザ名張でも行いました。

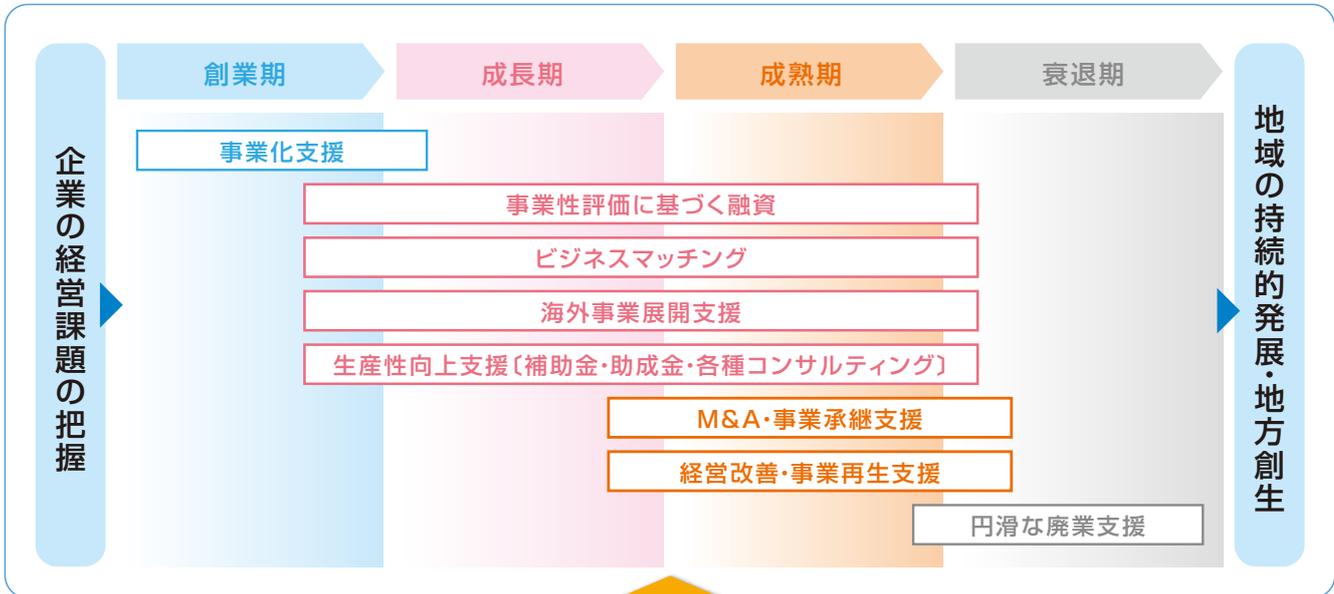
ボッチャ国際大会を応援(3月)

パラリンピックの正式種目であるボッチャの国際大会「アジア・オセアニア地区ボッチャオープン」が三重県宮サンアリーナ(伊勢市)にて国内初開催され、三重県下4信用金庫で協賛しました。

その他、趣味の書道・写真・絵画などの作品展や「がんを知る展」「伊賀FCくノ一写真展」など、さまざまな展示会を定期的で開催しております。

中小企業の経営支援にかかる態勢

企業のライフステージ



外部支援機関・専門家との連携



経営支援に関する主な取組み

- 課題発掘シートを活用し、お客さまの抱える経営課題に対して速やかに応えられる体制を構築しています。
 - ▶ お客さまのトップラインを上げるため販路拡大支援に取り組んでいます。
 - ▶ お客さまの創業・第二創業における計画書作成やご融資、政府系金融機関のご紹介を行っています。
 - ▶ お客さまの後継者問題等による事業承継支援やM&Aにも積極的に取り組んでいます。

(平成29年度実績)

主な支援内容	相談先数	成約先数	成約率
販路拡大支援	299	56	18.7%
創業・第二創業支援	57	41	71.9%
事業承継支援	25	18	72.0%
M & A 支援	8	2	25.0%

地域密着型金融の取組み

当金庫は、従来から、地元へ根ざした金融機関としてお客さまとの密接な関係を活かし、地域密着型金融を推進し、様々な施策に取り組んでまいりました。「第五次中期経営計画(平成28～30年度)」においても、お客さまの経営支援、海外展開支援、事業承継支援などに積極的に取り組み、地方創生・地域活性化に資することで、さらなる地域密着型金融の深化を目指しております。

1. 地域企業のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

事業性評価にもとづく融資、事業性評価にもとづく本業支援でお客さまのライフステージに応じたさまざまなサポート活動を実施しています。

2. 地方創生・地域活性化への積極的な参画

地域に根ざした産業への支援や、創業支援・事業承継支援により地域産業の活性化と雇用の創出に努めています。

3. 地域やお客さまへの積極的な情報発信

地方創生に関する課題解決に向けて、地方公共団体への情報発信による連携を強化、お客さまとの対話による課題把握と解決に向けての有益な情報提供に努めています。

金融円滑化のための取組み

当金庫では、地域の中小企業および個人のお客さまに必要な資金を安定的に供給し、地域経済の発展に寄与するため、金融円滑化に対する基本方針を定め、積極的に取り組んでおります。

金融円滑化の基本方針

1. 地域のお客さまに必要な資金を安定的に供給することは、当金庫の最も重要な社会的役割の一つであり、お客さまからのお借入れのお申出や、お借入れの弁済負担軽減等に関わるご相談等には親身な対応を心がけ、可能な限りお客さまのご希望に沿うよう努力いたします。
2. ご融資の判断にあたっては、決算内容等の表面的な計数や特定の業種であること等、お客さまの外形的な事実だけでなく、経営実態や特性をきめ細かく検討するなど、個別企業や個人の実情に応じた的確な融資判断・検討を行います。
3. お客さまからのお申出事項に対しては、お客さま本位の姿勢で、契約内容や結論に至った理由・経緯を可能な限り丁寧に説明いたします。
4. お客さまにとって必要と判断した場合には、可能な限り経営指導・助言を行うよう努めます。
5. お客さまからのご照会・ご相談・ご要望・苦情等については、真摯な対応に努めます。
6. お客さまからのお借入れの弁済負担軽減等に関わるご相談等に際して、他の金融機関や信用保証協会等と緊密な連携を図る必要が生じたときは、守秘義務に留意しつつ、お客さまの同意を得たうえで、これらの関係機関と緊密な連携を図りながら地域金融の円滑化に努めてまいります。

「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するための態勢を整備しています。また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドラインの記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

なお、29年度に当金庫において、新規に無保証で融資をした件数は85件、新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合は1.5%、保証契約を解除した件数は2件、同ガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数(当金庫をメイン金融機関として実施したものに限る。)は0件です。

しんきんコラボ産学官Mie

「しんきんコラボ産学官Mie」は、平成20年7月、「産学官+金融機関」の連携組織として設立し、技術開発等経営課題を抱える会員企業に対して、コラボ産学官のネットワークを活用しながら、大学等との橋渡しや資金的支援を行っております。

しんきんコラボ産学官Mieの主な取組み

- ▶ 経営者セミナーの開催 ▶ 企業訪問、工場見学の実施
- ▶ 三重大学等との共同研究(研究案件累計74件、共同研究48件)
- ▶ メールマガジンによる情報発信

「こんな技術はないだろうか」、「生産性を向上させるにはどうしたらいいだろうか」、「どうやってPRしようか」などのご要望に対する情報提供や支援を行っております。

会員資格 三重県内に勤務または居住し、あるいは事務所を有する個人または企業(団体)

会費 年間5千円

三重県信用金庫事業共同化プロジェクト

県内の信用金庫で構成する三重県信用金庫協会は、業務推進、事務、監査、人事教育等の情報交換や、外部機関からの情報収集などを永年にわたって行っています。現在は、信用金庫ブランドの向上やさらなるサービス向上を目的として、事業の一部共同化も開始しております。今後も、事業共同化によるスケールメリットを活かしつつ、信用金庫のセントラルバンクである信金中央金庫との連携をさらに強化し、地元のお客さまのお役に立ちたいと考えております。



当金庫について

貸借対照表

第90期 平成30年3月31日現在

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
現金	6,319	預金積金	415,438
預け金	103,310	譲渡性預金	3,000
買入金銭債権	572	借入金	2,340
有価証券	123,090	その他負債	1,384
貸出金	197,640	賞与引当金	160
その他資産	2,862	役員退職慰労引当金	77
有形固定資産	5,505	睡眠預金払戻損失引当金	16
建物	1,818	偶発損失引当金	21
土地	3,161	再評価に係る繰延税金負債	459
リース資産	351	債務保証	1,291
その他の有形固定資産	173	負債の部合計	424,188
無形固定資産	47	普通出資金	2,403
ソフトウェア	16	優先出資金	1,000
リース資産	19	利益準備金	2,380
その他の無形固定資産	11	その他利益剰余金	8,530
前払年金費用	142	特別積立金	7,990
繰延税金資産	1,098	当期末処分剰余金	540
債務保証見返	1,291	その他有価証券評価差額金	860
貸倒引当金	△ 1,303	土地再評価差額金	1,214
(うち個別貸倒引当金)	(△ 1,164)	純資産の部合計	16,388
資産の部合計	440,577	負債及び純資産の部合計	440,577

損益計算書

第90期 平成29年4月1日～平成30年3月31日 (単位:千円)

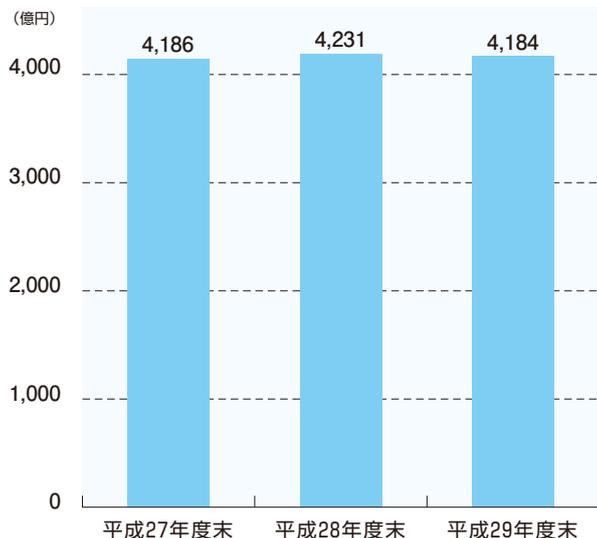
科目	金額
経常収益	5,929,621
資金運用収益	4,645,614
貸出金利息	3,223,096
有価証券利息配当金	1,211,842
役務取引等収益	740,506
その他業務収益	158,416
その他経常収益	385,084
経常費用	5,192,049
資金調達費用	487,935
預金利息	323,840
役務取引等費用	443,187
その他業務費用	34,905
経費	4,058,573
その他経常費用	167,447
経常利益	737,571
特別損失	119,729
税引前当期純利益	617,842
法人税、住民税及び事業税	8,402
法人税等調整額	187,150
当期純利益	422,289
繰越金(当期首残高)	107,931
当期末処分剰余金	540,898

預金・貸出金の状況

預金積金残高は、定期性預金の減少などにより、前年度末比46億円減少の4,184億円となりました。

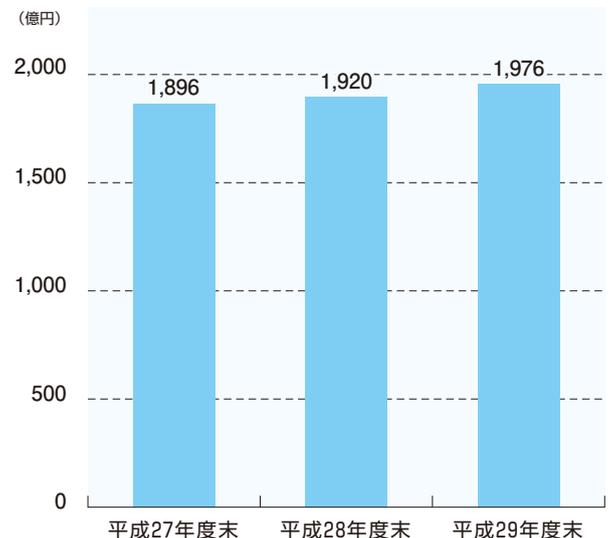
貸出金残高は、地域の皆さまの課題解決や資金需要にお応えすることにより、前年度末比56億円増加の1,976億円となりました。

●預金積金の推移

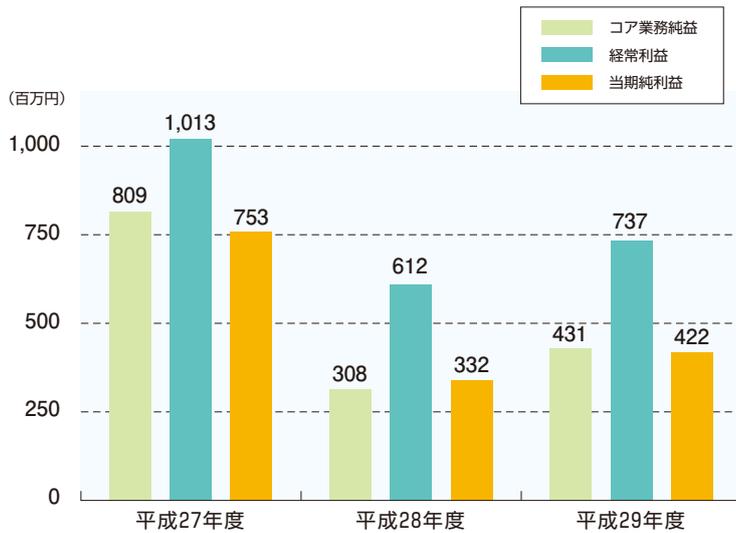


※預金積金には譲渡性預金を含みます。

●貸出金の推移



損益の状況



市場金利低下の影響はあったものの、コア業務純益は前年度比122百万円増加の431百万円、経常利益は125百万円増加の737百万円、当期純利益は89百万円増加の422百万円となりました。

コア業務純益とは

一般企業の営業利益にあたる業務純益から、国債等債券の売買損益など一時的な変動要因を除いたもので、より実質的な本業での収益力を表します。

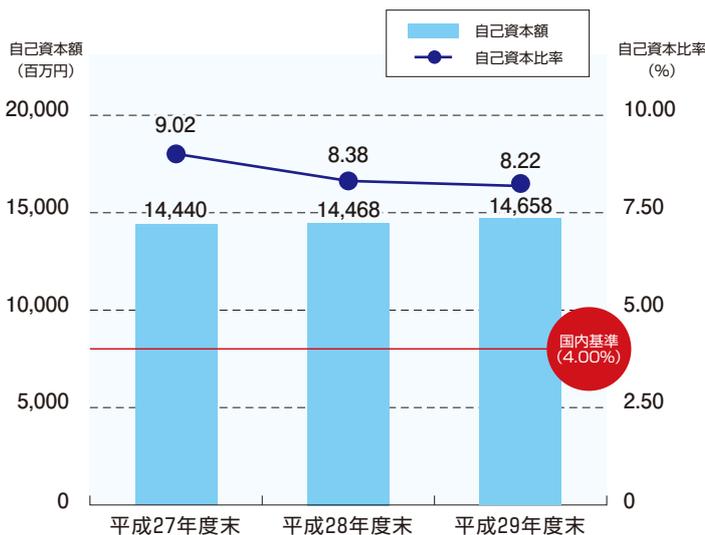
経常利益とは

金融機関の経常的な営業活動の成果を表すもので、金融機関の営業に通常発生する収益(経常収益)から費用(経常費用)を控除したものです。

当期純利益とは

経常利益に特別損益を加減算した利益から法人税、住民税及び事業税を控除し、さらに税効果会計による法人税等調整額を加減算したものです。

自己資本比率の状況



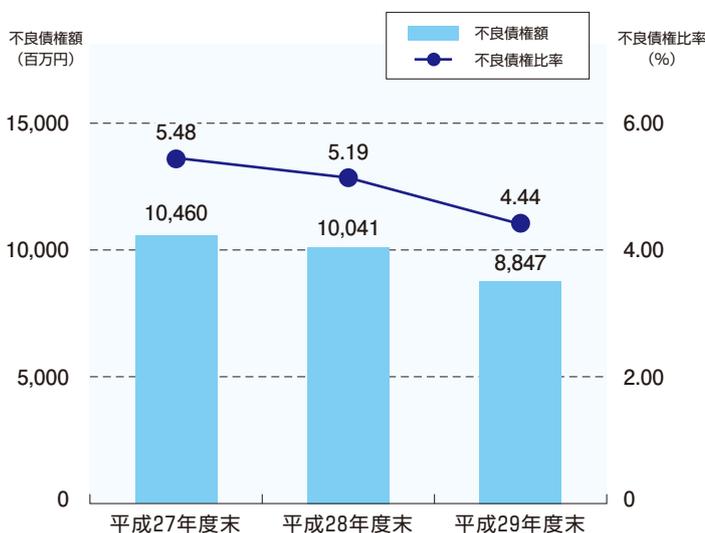
自己資本比率は8.22%と、国内で業務を営む金融機関の基準(国内基準)の4%を十分に上回る水準を確保しております。引き続き経営の健全化・効率化を推し進め、自己資本の充実を図ってまいります。

自己資本比率とは

貸出金など総資産に占める自己資本の割合を示すもので、経営の安全性・健全性・企業体力(リスクへの耐性)等を表す代表的な指標です。

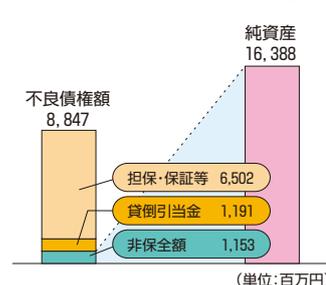
$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額}}{\text{リスク・アセット等}} \times 100\%$$

不良債権の状況



経営支援などに積極的に取り組みつつ、不良債権の低減に努めた結果、金融再生法ベースの不良債権額は前年度末比1,194百万円減少の8,847百万円となりました。また、不良債権比率は0.75ポイント改善し4.44%となりました。

不良債権の保全状況 (平成29年度末)



不良債権はすべてが損失につながるわけではなく、担保・保証等および貸倒引当金によりカバーされています。また、非保全部分についても純資産により十分対応できる水準となっております。

店舗ネットワーク



相談プラザ

15時以降や日曜日にご相談を承っております。

住宅資金や消費資金について、専門スタッフがお申込みからご融資に至るまでワンストップ態勢でご相談を承ります。

また、コンサルタント室では、財務アドバイザーが相続や遺言、事業承継などの疑問や不安について、個別にご相談を承っております。お気軽にご利用ください。

相談プラザ 四日市	平日 および日曜日 (祝日を除く)	9:00~17:00	個人ローン相談 TEL.059-352-6116 コンサルタント室 TEL.059-354-9976
	平日 (祝日を除く)	9:00~19:00	個人ローン相談 TEL.0595-62-3700 コンサルタント室 TEL.0595-62-5600
相談プラザ 名張 (名張支店内)	日曜日	9:30~16:30	

※相談プラザは、土曜日をお休みとさせていただきます。日曜日と祝日が重なった場合は営業いたします。

個人ローン相談

- 住宅ローンなど住宅に関するご相談
- 各種個人ローンのご相談

コンサルタント室

- 税務(相続・遺言・贈与)関連のご相談
- 資産活用に関するご相談 ○事業承継に関するご相談



お客様のプライバシーをお守りする専用のブースで、ゆっくりご相談いただけます。